

改憲を阻止し 9 条を生かせば、 東アジアの平和構築に大きな貢献ができる

戦争は違法！ 世界は「憲法 9 条の時代」へ

第一次大戦までの世界では、戦争は植民地支配の手段として認められていました。しかし、一千万人もの死者を出した世界大戦を経て、「戦争は違法」が世界のルールとなってきました。これを最初に破ったのが、日本の満州事変でした、

1945 年の国連憲章は不戦条約を再確認し、日本国憲法はさらに進んで「戦争と武力による威嚇又は武力の行使」を永久に放棄し、戦力不保持と交戦権否認まで宣言しました。

第二次大戦後の世界では、植民地からの独立が相次ぎ、核戦争の危機をはらみながらも大国間の戦争は回避されてきました。いま、朝鮮半島危機が米朝会談などで非核化・対話による平和の方向に転換しています。不戦の歴史を経て、今日、「戦争は違法」「対話で解決」が、世界の主流となっているのです。

憲法を生かして世直しを！

3・11 震災で福島自動車部品工場が止まった時、世界の自動車工場の生産ラインが止まり、世界経済の強い結びつきが示されました。

諸国民の「協和による成果」、「公正と信義」による安全と生存の保持を謳った日本国憲法前文は、平和の誓いであるとともに、今日のグローバル経済の在り方をも示しています。



砂川闘争の勝利で米軍基地が返還されてできた昭和記念公園

不戦への世界の歩み

- 1914~18 年 第一次世界大戦
- 1919 年 ベルサイユ条約
- 1920 年 国際連盟成立
- 1922 年 ワシントン海軍軍縮条約
- 1928 年 不戦条約・侵略戦争の違法化
- 1931 年 満州事変・不戦条約違反
- 1939 年 第 2 次世界大戦始まる
- 1945 年 国際連合成立、国際憲章
- 1947 年 日本国憲法施行

いま、主権者である私たち国民が、安倍改憲を阻止し、「憲法を生かして日本を作りかえる」歴史的な大事業を成し遂げれば、憲法 9 条をもつ日本として、朝鮮半島と東アジアの平和のために大いに力を発揮することができます。

市民と野党が共闘し「投票箱で政治をかえる」大仕事に挑戦しましょう。

憲法 9 条の値打ちに注目する韓国の憲法学者

韓国の憲法学者・李京柱氏は、著書『21 世紀の立憲主義』の中で、「韓国憲法は武力による平和主義を規定したため、ベトナム侵略の同盟軍としての汚名を浴びてしまった。日本が派兵に歯止めをかけることができたのは、憲法 9 条が武力



ベトナムで戦死した韓国兵が眠る国立ソウル顕忠院第 2 墓地

によらない平和主義を規定したためである。」「日本が軍事力をもたないことこそ国際貢献であった。」と、日本国憲法 9 条の意義を強調しています。

「国土防衛」の歯止めを超えてベトナム戦争に加担した韓国は、ローソク革命を経て南北の平和構築に努力しています。憲法 9 条のある日本で、安倍首相が憲法に「自衛隊」を書き込むことは、歴史の逆行です。

日本国憲法	大韓民国憲法
第 9 条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。 ② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。	第 5 条 大韓民国は、国際平和の維持に努力し、侵略的戦争を否認する。 ② 国軍は、国の安全保障と国土防衛の神聖な義務を遂行することを使命とする。

